

図書館業務の機械化について

(1) 図書館システム(例えば、貸出、返却、所蔵管理など)を導入していますか

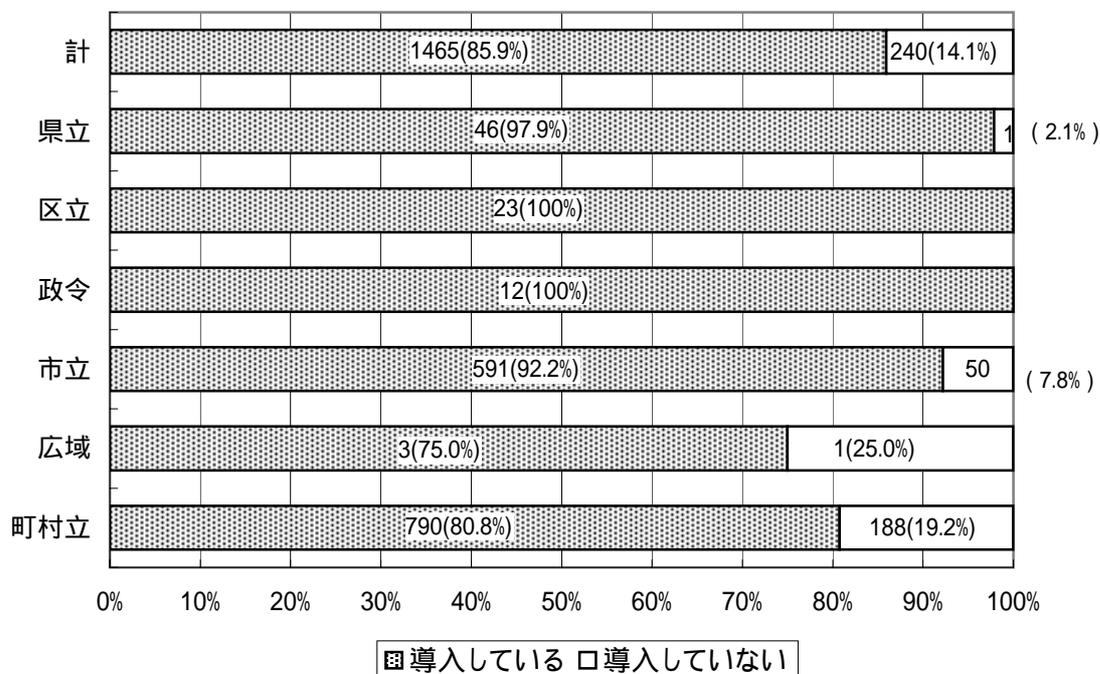
貸出や所蔵管理などの図書館業務をコンピュータで管理するシステム(以下図書館システムと呼ぶ)の導入状況について尋ねた。今回の調査では、導入の有無について回答した1705館中で、85.9%の図書館が図書館システムを導入している。

設立主体別に見ていくと、特別区と政令指定都市の図書館は全館が導入しており、都道府県立図書館も1館を除いて導入済みである。また、市立図書館の92.2%、町村立図書館の80.8%で導入している。

	計	県立	区立	政令	市立	広域	町村立
導入している	1465	46	23	12	591	3	790
導入していない	240	1	0	0	50	1	188
計	1705	47	23	12	641	4	978

無回答	5	0	0	0	2	0	3
総計	1710	47	23	12	643	4	981

図書館システムの導入状況



調査票用語説明) 図書館システム:

図書館業務処理専用システムのことです。貸出返却、資料検索、予約管理、利用者管理、資料管理、発注受入、統計などの処理を含んだシステムを指します。前記のうち一部の機能のみ使用している場合であっても「1 導入している」とお答えください。

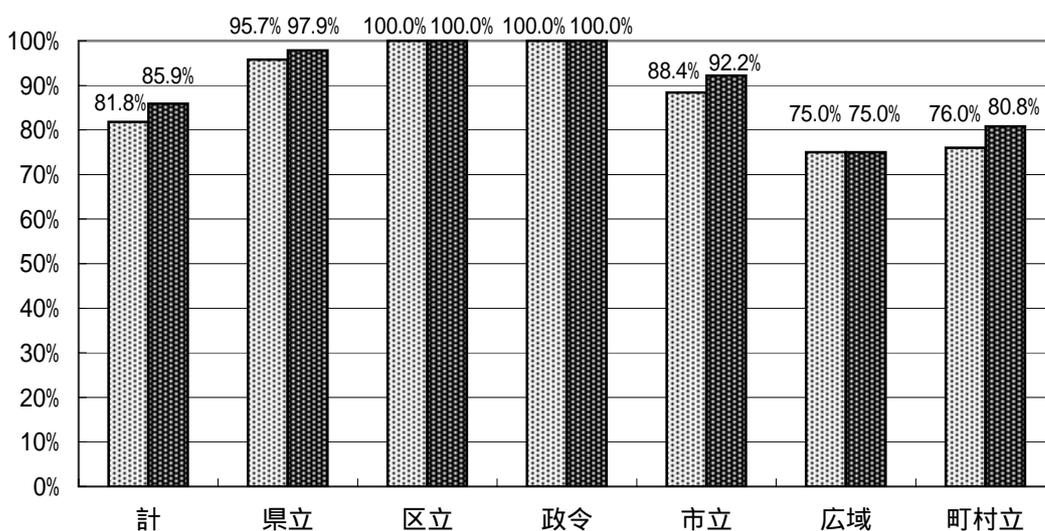
全国公共図書館協議会では、2001年10月1日現在で、「公立図書館における電子図書館のサービスと課題」について調査を行い、『公立図書館における電子図書館のサービスと課題に関する実態調査報告書 2001年度』（全国公共図書館協議会 2002.3）としてまとめられている。

このときの図書館システムの導入状況と、今回の調査（2003年10月1日現在）の導入状況を比較すると、都道府県立図書館が1館増加し、市立図書館と町村立図書館も、図書館システムを導入している比率が増えている。全体では、2001年調査は81.8%であったが、今回の調査では4.1%増加して85.9%になっている。

図書館システムを導入している図書館の比率

	計	県立	区立	政令	市立	広域	町村立
2001年調査	81.8%	95.7%	100.0%	100.0%	88.4%	75.0%	76.0%
2003年調査	85.9%	97.9%	100.0%	100.0%	92.2%	75.0%	80.8%

図書館システムの導入比率の比較



■ 2001年調査 ■ 2003年調査